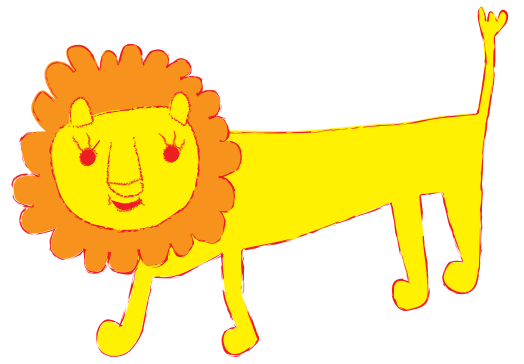


動物園ごっこ



先日、『動物園ごっこ』の取材をさせていただきました。

動物園ごっこは、年長組がグループ毎に好きな動物を製作し、年中組・年少組をお客さんとして招待して動物園で遊んでもらうグレース幼稚園の恒例行事です。年長組はこのために、社会見学で本物の動物園を訪れて間近で動物を観察します。後日、園でグループ毎に話し合い、どんな動物を、どんな材料を使って、どんな仕様で作るのか、全て子どもたちの自由に作らせるそうです。



いよいよ当日、年長組の準備が始まりました。廊下には子どもたちのかわいい動物イラスト入りの呼び込みチラシが沢山貼ってあり、教室の入口にはいろいろな子が作った動物園ごっこの看板がぶら下がっていました。



動物搬入後は、子どもたちで確認し合いながら、ビニールテープで動物の稼働ルートをマーキングします。マーキングが済んだグループはシミュレーションで動物を動かしてみたり、なにやら話し合いを続けたり、様々です。

そしてリンクエイジさんによる記念撮影。

グループ毎に様々なポーズをしていて、とても可愛かったです。

時間になり、ついに年少組の来場です。

年少組は、前日に貰った招待状を首に掛けて、みんなウキウキの様子でやって来ました。そして各々自分の乗りたい動物に向かいます。そこでは年長組が列を誘導してくれ、招待状を切符に見立て穴あけパンチで穴を開けてくれます。



いよいよ動物に乗ります。

跨って、後ろから年長組のお兄さんお姉さんが押してくれるものや、動物の中に入ってグルグル回すもの。そりみみたいな形になっていて、そこに座って押しってもらうなど、様々な動物があります。

その中でも、靴を脱いでから入る土足禁止や、跨ってる間、動物の首の根元を押すと動物の首がピョコピョコ動くもの、動物の中に座席があるもの、回している間に扉が開いてしまわないよう、牛乳瓶の蓋できちんと鍵のように留めておけるもの、乗った後に、魚の餌を動物にあげることができるオプション付きだったり、それぞれの動物に様々な工夫があり、子どもたちの発想の豊かさに関心しました。



動物によって回転率も違うようで、すいてきたグループは『〇〇あいてまーす!』などと大きな声で呼び込みをしたり、看板を持ってウロウロしたり、直接声を掛けたりして勧誘を行っていました。



年少組の時間が終わり、次は年中組の時間です。

待ってましたと言わんばかりに、駆け足気味の来場です。

年少組の時は2,3人ずつ乗せていた動物も、年中組の体が大きいことと疲れも出てきてパワーダウンが見られます。

しかし終盤になっても特に張り切っていたのは、やはり先生を乗せた時。

動物の中に入ってグルグル回すタイプでは、こっそり男性の先生を助っ人に呼んだりして、超高速回転!!の後、フラフラになって倒れこみながら出てくる先生方に、大爆笑の子どもたちでした。



動物観察から計画、製作から当日のお客さん対応まで。何週間もかけて友達と協力し、1つの目標に取り組んだことはとても貴重な経験だと思います。年長組さん、本当にお疲れ様でした。